

第 21 回学術集会プログラム

1 日目 8 月 26 日 (土)

- 12 : 00 受付開始
12 : 45 開会式
13 : 00 学術集会長講演「病気療養児の復学支援体制の構築－現状と課題－
大見サキエ (岐阜聖徳学園大学看護学部 教授)
14 : 00 休憩
14 : 10 口頭発表 (休憩 10 分)
16 : 20 休憩
16 : 30 特別講演「日本育療学会は何を求めてきたのか。
そしてこれからは、何を求めていくべきか～私案～」
横田雅史 (帝京平成大学現代ライフ学部 教授)
17 : 30 ポスター掲示
18 : 00 懇親会 (20 : 00 終了)

2 日目 8 月 27 日 (日)

- 8 : 30 受付開始、ポスター掲示
9 : 00 ポスターセッション
10 : 20 休憩
10 : 40 基調講演「小児がん診療と長期入院患児への学習支援、復学支援の試み
－名古屋大学病院の場合－」
高橋義行 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)
11 : 50 昼休憩・理事会
12 : 30 総会 (13 : 00 終了)
13 : 05 シンポジウム
「がんの子どもへの復学支援から連携を図る
－当事者の支援につなげるために医療・学校の状況をもっと知ろう！－」
司会・コーディネーター 滝川国芳 (東洋大学文学部 教授)
＜シンポジスト＞ 山本 佳恵 (滋賀医科大学医学部附属病院 看護師)
清岡 義文 (岡山市立清輝小学校 教諭)
小沼 公子 (当事者家族)
＜コメンテーター＞ 山岡 由佳 (岐阜大学医学部附属病院 看護師)
山路 翔吾 (岐阜市立城西小学校 教諭)
15 : 30 閉会式
15 : 45 終了

一般演題プログラム 口頭発表

8月26日(土) 14:10~16:20

口頭発表Ⅰ (14:10~15:10) 座長: 泉 真由子、副島 賢和

発表 10分、質疑応答 3分

番号	演題	発表者
O-1	特別支援教育担当教員の小児医療現場における協働・連携	○ 甲斐恭子 濱中喜代 谷川弘治
O-2	発達障害等の発達上の課題を有する子どもの「食の困難」の実態と支援ニーズに関する研究－保護者調査から－	○ 田部絢子 高橋 智
O-3	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的ニーズに関する研究－特別支援学校教員を対象とした学部別による教育的ニーズの検討－	○ 深草瑞世 森山貴史 土屋忠之
O-4	24時間人工呼吸装用児の社会的自立に向けた心理的変容	○ 檜木暢子 八木良広 西 朋子

口頭発表Ⅱ (15:20~16:20) 座長: 島 治伸、石川 慶和

発表 10分、質疑応答 3分

番号	演題	発表者
O-5	病院内教育におけるコーディネーターの役割－実践報告と今後の可能性について－	○ 古畑晴美
O-6	復学が見通せなくなった児童に向き合う教員の迷いの事例から－病弱教育の専門性と実態把握の重要性－	○ 白石ゆり江 荻原節子 植木田潤
O-7	愛知県病弱児療育研究会 30年の軌跡－院内学級のより良い療育環境を目指して－	○ 伊藤 剛
O-8	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における教育と医療・福祉との連携②－愛媛県における個別支援計画に基づいた支援について－	○ 大藤佳子 西 朋子 檜木暢子 檜垣高史

一般演題プログラム ポスターセッション

8月27日(日) 9:00~10:20

フリーディスカッション

番号	演題	発表者
P-1	実習における大学の学生支援体制のあり方の検討	○ 河合洋子 滝川国芳 大見サキエ 合田友美
P-2	病気療養児への余暇・学習支援活動に取り組む学生ボランティアの意識の変容に関する考察－学生ボランティアの聞き取り調査を通して－	○ 山下祥代 檜木暢子
P-3	愛着障害の子どもの非行防止への支援を考える －元非行少年のライフヒストリー分析から－	○ 小林雅弥 小林純子
P-4	こどものホスピスで活動予定の大学生を対象とした研修における教育評価 －テキストマイニングを用いた感想の分析－	○ 坂田 和 兒玉尚子 平賀健太郎 副島賢和 新家一輝 岡崎 伸 中尾繁樹
P-5	エンターテインメントロボット（ペットロボット）の病弱教育への導入について	○ 橘岡正樹 滝川国芳
P-6	院内学級担当教員の支援ニーズに関する一考察 －スクールカウンセラーとの連携を中心に－	○ 長江綾子
P-7	大学生による入院中の高校生への学習支援の意義と効果 －大学生だからこそその効用－	○ 関由起子
P-8	小学校3年生への小児がん啓発人形劇の効果 －感想文の内容分析を通して－	○ 岡本光代 永井祐也 永井絵莉子 田中賀陽子 小田真弓 武田鉄郎
P-9	精神科医療と教育現場との連携の課題 －連携における精神科看護師の役割を考える－	○ 小林純子 林 和枝 鈴木雪乃

番号	演題	発表者
P-10	神奈川県における入院中の高校生への教員派遣制度に関する研究	○ 山本 栞
P-11	保育園・通常小学校で医療的ケアを担当する看護師の研修コース (第一報)	○ 田村三穂 中島幸恵 広瀬京子 加藤和子
P-12	病弱児の不登校を考える－「病気の子」が抱える要因と具体的な支援－	○ 森實祥子 関由起子
P-13	超重症児への指導の成果に関する担任教師の認識 －該当児童生徒の脳機能障害の程度と所属学部の違いに着目して－	○ 野崎義和
P-14	教員養成課程所属学生が想起する小児がんに罹患した児童への復学支援 －自由記述の内容分析を通して－	○ 永井祐也 永井絵莉子
P-15	慢性疾患のある児童を支える小学校教師の不安・困難感に関する文献検討 －保護者との相違点に焦点を当てて－	○ 川崎友絵 萩本明子
P-16	病弱特別支援学校の修学旅行に必要な配慮や支援 －岐阜県の特別支援学校を対象とした調査結果－	○ 松本和久 安田和夫
P-17	重症心身障害者の応答行動を促す支援者の働きかけに関する検討（2） －呼名場面におけるモーションヒストリーを活用した検討－	○ 大江啓賢
P-18	平成28年熊本地震における特別支援学校の実態調査 －管理職への質問紙調査から－	○ 五島 脩 高野陽介 泉真由子
P-19	難病の子供に対する教育の場における合理的配慮について －重篤化する症状に応じたインクルーシブ教育の保障－	○ 赫多久美子 福島慎吾
P-20	肢体不自由生徒の保護者への質問紙調査による高校進学・生活における 課題・コースの検討	○ 高野陽介 五島 脩 泉真由子
P-21	肢体不自由児に対する感覚への働きかけが感情の表出を促した一事例	○ 兒玉尚子 平賀健太郎
P-22	通常学級に在籍している慢性疾患の子どもの教育による治療等への効果 －医療が抱く教育への期待－	○ 鈴木久雄 石川慶和
P-23	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業における教育と医療・福祉との連携① －愛媛県における自立支援員の2年間の取り組み－	○ 西 朋子 檉木暢子 山下祥代 大藤佳子 檜垣高史